

平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「誠実明朗」「自主創造」「友情協力」の校訓のもと、明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する、人間性豊かな人格の完成をめざす。生徒と教職員との信頼関係をもとにした専門教育を通じて、勤労と責任を重んじ、幅広い技術をそなえた社会人を育成する。

1. 基礎学力と専門的な技能・技術を修得し、社会の中で主体的に生きる力を育てる。
2. 協調性、規範意識を身につけ、周囲から求められる社会人を育てる。
3. 地域社会での存在意義を高め、生徒が誇りをもてる学校づくり。

2 中期的目標

1. 社会の中で主体的に生きる力を育てる。
 - (1) 基礎的・基本的な学力の育成
 - ア 授業での ICT 活用を進め、基礎学力の充実を図る。
 - イ 授業改善を図るとともに、授業内容・授業形態の工夫により、確かな学力を身につけさせる。
※生徒向け学校教育自己診断における授業に関する満足度 80%を維持する。 (平成 29 年度 80.3% / 平成 30 年度 83.0%)
 - (2) 資格取得を学習の核に据え、主体的に自己の将来を切り拓く能力を育成
 - ア 授業においても技能・資格取得を勧め、学習意欲の喚起と、有用な技能修得を図る。
※主要な資格について、平成 31 年度には卒業生徒の取得率を 100% (一人一つ以上) とする。 (平成 29 年度 70.0% / 平成 30 年度 94.1%)
 - (3) 在学中の就労を促進するとともに、生徒のニーズにあった進路実現をサポート
 - ア 未就労生徒に対し、個別指導と個別支援による就労促進を行う。
 - イ キャリア教育、職業教育を充実させ、社会で自立できる力を育成する。
 - ウ 自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する。
※学校斡旋就職を希望する生徒を支援し、正規就職希望者 80%以上、就職内定率 100%を目標とする。
(正規就職希望者 - 平成 29 年度 93%、平成 30 年度 93.3% / 就職内定率 - 平成 29 年度 100%、平成 30 年度 100%)
2. 周囲から尊敬される社会人を育てる。
 - (1) 授業規律の確立
 - ア 組織的な指導体制を確立し、良好な環境と授業規律の確立を図る。
※良好な学習環境を実現し、生徒向け学校教育自己診断肯定率を毎年 5%以上の向上を目標とし、平成 31 年度には 80%以上にする。
(平成 29 年度 69.2% / 平成 30 年度 77.5%)
 - (2) 協調性や社会性の育成
 - ア 魅力ある学校行事、部活動を振興し、学校生活の魅力を高め、集団活動への参加促進を図る。
※出席率の大幅改善と平成 31 年度には 1 年次生の進級率 70%以上を目標にする。 (平成 29 年度 47.4% / 平成 30 年度 92.3%)
3. 誇りをもてる学校づくり
 - (1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得
 - ア 生徒による地域活動の実施、公開講座の実施など、地域から見える、特色ある学校の取り組みを推進する。
※保護者向け学校教育自己診断において、本校の特色ある取り組みについての肯定率 80%以上を維持する。
(平成 29 年度 85.7% / 平成 30 年度 91.7%)
 - (2) 広報活動の充実により、学校の取り組みを広く周知
 - ア 学校ホームページの充実、地域自治会での広報などを積極的に展開する。
※公開講座、学校見学会等への参加者を、平成 31 年度には年間延べ 50 名以上とする。 (平成 29 年度 45 名 / 平成 30 年度 54 名)
 - (3) 人材育成により、優れた教育環境の提供
 - ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と優れた指導体制づくり。
※教育課程の改革と意欲的な指導体制の確立

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 30 年 11 月実施分]	学校運営協議会からの意見
○学校教育自己診断について * 「◎」「○」「△」は、数値または変化に対する学校の評価 ※ (肯定率%) H28 → H29 → H30 1. 学校生活 ・生徒評価：この学校には、他の学校にない特色がある 75.0% → 78.4% (○) → 85.7% (◎) ・生徒評価：授業はわかりやすく楽しい 65.8% → 72.7% (◎) → 81.0% (◎) ※学校の特色や少人数指導に対する満足度は高く、授業アンケートの結果も学校全体として向上。学校生活の満足度にもつながっている。 2. 学習指導 ・生徒評価：授業で、自分の考えをまとめたり発表する機会がある。 56.0% → 63.6% (○) → 54.8% (△) ・生徒評価：教え方に工夫をしている先生が多い 72.4% → 86.3% (◎) → 73.8% (△) ・生徒評価：ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある 78.6% → 80.3% (○) → 82.9% (○) ※授業改善・学力向上に向けて取り組んでいるが、生徒が主体的に行動したり、「教え方の工夫」については学校として取り組む必要がある。 3. 生徒指導 ・生徒評価：先生は、お互いに協力し合って、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている 76.0% → 69.2% (△) → 73.8% (○) ※授業・行事において教職員が一丸となって取り組む方向にある。 4. 進路指導 ・生徒評価：将来の進路や生き方について考える機会がある 78.9% → 76.9% (○) → 82.5% (○) ・生徒評価：学校は、進路についての情報を提供してくれる 72.9% → 81.2% (◎) → 81.0% (○) ※キャリア教育を中心とした進路指導、個々の生徒に応じた指導の成果が現	平成 30 年 6 月 15 日 (金) ・定時制高校の現状について一サーフェティネットの役割を担っているが、他の高校に通っている生徒の受け入れは常に行っているのか。 ・働き方改革について一カウンセリングなど、先生方のメンタルヘルスについては取組みがされているのか。 ・教科書選定について一内容以外に価格についての考慮もしているのか。 ・進路状況・就職について一求人数は全日制と比べてどうなのか。また希望どおりの就職は可能なのか。 ・茨木工科定時制について一子どもを入学させて良かったと思っている。少人数指導・アットホームな雰囲気、先生との関係が良い。中学生の保護者にも分かってもらった方がよい 平成 30 年 11 月 19 日 (月) ・学校経営計画 進捗状況報告 ・学校から生徒の勤務先に対して、始業時間に間に合うように配慮してほしいとの申し入れはできないのか。 ・スマートフォンの使用はどこまで禁止しているのか。また、使い方についての指導は行っているのか。 ・0 限授業は基礎学力の確認、復習にも役立ち、とてもありがたい。 平成 31 年 2 月 1 日 (金) ・学校経営計画 H30 年度評価案、H31 計画案について ・普段の授業の様子をブログに掲載してほしい。 ・授業の様子をインターネットで配信できないものか。 ・資格取得状況を学校情報として H P に掲載するとよい。 ・卒業生と在校生との連携についても経営計画に加えてはどうか。

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

<p>れつつある。</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒評価：学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか知らされている 74.6% → 72.3% (○) → 75.6% (○) 保護者評価：学校は、保護者や地域の人が授業に参加する機会を設けている 57.4% → 61.1% (○) → 66.7% (○) 保護者評価：この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある 54.9% → 40.9% (△) → 53.3% (◎) <p>※授業参観期間の設定、HPを活用した広報活動・情報の効果が現れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営計画、学校評価に数値を記す必要はあるのか。毎年生徒数が減少し、回答数も少ないなかで経年比較をし、数値を出すことにどこまで意味があるのか。 学校経営計画の数値目標・結果について、定時制の状況が考慮されたいうえで、他校との比較がされたりしているのか。 学校現場で働き方改革はどこまで進んでいるのか。
---	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 社会の中で主体的に生きる力を育てる	<p>(1) 基礎的・基本的な学力の育成</p> <p>ア 授業で効果的なICT活用を推進し、基礎学力の充実</p> <p>(2) 資格取得を学習の核に据え、主体的に自己の未来を切り拓く能力を育成</p> <p>ア 授業においても技能・資格取得を勧め、学習意欲の喚起と、有用な技能の修得を図る。</p> <p>(3) 正規就職の拡大</p> <p>ア 個別指導と個別支援による就労指導</p>	<p>(1)</p> <p>ア①ICT機器の活用やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施し、授業改善を進める。また、教材の共有化を図り、各教員の授業準備等に係わる業務の負担軽減を行う。</p> <p>②授業において、確認テスト等を実施し、基礎学力の定着を目標とする。</p> <p>(2)</p> <p>ア①溶接技術、CAD、計算技術等、授業内容と関連した資格取得に関わる知識・技能の指導を充実させる。</p> <p>②資格取得をめざした講習・個別指導を実施し、生徒個別の支援を行う。</p> <p>(3)</p> <p>ア①キャリアコーディネータ等との連携による求人開拓、個別指導を継続的に強化し、卒業時に正規就職できるよう支援を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア①ICT機器・視聴覚教材を活用した授業を実施 生徒向け授業アンケート「ICTを用いた授業が実施できている」における生徒肯定率 80%以上を維持 (H29年度 80.3%)</p> <p>②各教科で繰り返し確認テストを実施し、単位取得者の増加を図る。 生徒向け授業アンケート「授業が楽しく分かりやすい」における生徒肯定率 70%以上を維持 (H29年度 72.2%)</p> <p>(2)</p> <p>ア①各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。 卒業年次の生徒の 70%以上の資格取得 (H29年度 70%)</p> <p>②3級自動車整備士試験受験者、合格者の増加。 受験者5名以上、合格者3名以上 (H29年度受験者4名 合格者4名)</p> <p>(3)</p> <p>ア①就職希望生徒の応募前職場見学 50%以上を維持 (H29年度 93%)</p> <p>②正規就職希望者 80%以上、就職内定率 90%以上 (H29年度正規就職希望者 93% 就職内定率 82%)</p> <p>③将来のキャリアを見通した進学の実現。進学志望生徒の合格率 100%を維持 (H29年度 100%)</p>	<p>(1)</p> <p>ア①「ICTを用いた授業が実施できている」における生徒肯定率は 3%向上。80%以上を維持することはできたが、ICT機器、設備などハード面の充実が課題。 (H30年度 83.0%) (○)</p> <p>②「授業が楽しく分かりやすい」における生徒肯定率は 8.8%向上。少人数指導に加え、個々の生徒の特性に合わせた指導ができつつある。 (H30年度 81.0%) (◎)</p> <p>(2)</p> <p>ア①各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。 卒業年次の生徒の 70%以上の資格取得 (H30年度 94%)</p> <p>②3級自動車整備士試験受験者、合格者の増加。 受験者5名以上、合格者3名以上 (H30年度受験者6名 合格者4名)</p> <p>(3)</p> <p>ア①進路指導部・担任を中心に就職を希望する生徒全員に応募前職場見学を実施することができた。 (H30年度 100%) (◎)</p> <p>②正規就職希望者 80%以上、就職内定率 90%以上を達成。 (H30年度正規就職希望者 93.3% 就職内定率 100%) (◎)</p> <p>③進学志望生徒の合格率 100%達成。 (H30年度 100%) (○)</p> <p>②③ともに個々の生徒の希望に沿った指導を行うことができ、満足できる結果となった。</p>
2 周囲から尊敬される社会人を育てる	<p>(1) 授業規律の確立</p> <p>ア 組織的な指導体制を確立し、良好な環境と授業規律の確立</p> <p>イ 生徒が主体的に授業に参加し集中して授業に取り組む姿勢を育成</p> <p>(2) 協調性・社会性の育成</p> <p>ア 学校生活の魅力を高め、集団生活への参加を促進</p>	<p>(1)</p> <p>ア①全教職員による生活指導体制を確立し、指導事例に即応し、良好な学習環境を維持する。</p> <p>②規範意識、社会性育成のための講座、ICT機器の正しい利用方法、情報活用能力等の指導機会を適宜設け、主体的に社会人としてのマナーを身に付けさせる。</p> <p>③高校生活支援カードを活用し、家庭および中学校・外部機関と連携を進め、きめ細かい支援を充実させる。</p> <p>イ 授業中に発表や話し合いの機会を多くする。</p> <p>(2)</p> <p>ア①部活動を活性化、注目される成果をあげ、生徒の活動参加を促す。</p> <p>②秋季発表大会などの成果発表に積極的に参加し、生徒の能力を引き出す。</p>	<p>(1)</p> <p>ア①授業規律を見直し、落ち着いた雰囲気のある学校づくりを行う。生徒向け授業アンケート「先生は責任を持って授業やその他の仕事に当たっている」における生徒肯定率 5%向上を目標とし、平成31年度には 80%以上とする。(H29年度 69.2%)</p> <p>②欠席の多い生徒(年間 30日以上)、中退者の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠席の多い生徒 15名以下 (H29年度 3名) 年間退学者 7名以内を目標 (H29年度 12名) 懲戒件数 7件以下を維持 (H29年度 3件) <p>③中学校・外部機関との連携を強化し、中高連絡会参加・学校訪問 20校以上実施を維持、本校の教育内容を周知 (H29年度 22校)</p> <p>イ①アクティブ・ラーニングへの取組み。生徒向け授業アンケート「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」における生徒肯定率 60%以上を維持 (H29年度 63.6%)</p> <p>(2)</p> <p>ア①部活動に参加する生徒を増加し、活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 定通実業総体 総合 3位以内 (H29年度 6位) <p>②秋季発表大会の生活体験発表、舞台発表、展示発表への参加維持 (H29年度 生活体験発表 1名、舞台発表 0件、展示発表 3名)</p>	<p>(1)</p> <p>ア①生徒向けアンケート「先生は責任を持って授業やその他の仕事に当たっている」における生徒肯定率は 8.3%向上し、目標とする数値以上の結果となった。平成31年度は、学校全体としてさらに学習指導・生徒指導に取り組み、80%以上をめざしたい。 (H30年度 77.5%) (○)</p> <p>②欠席の多い生徒(年間 30日以上)、中退者の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 30日以上の欠席 (H30年度 13名) (○) 退学者 (H30年度 7名) (○) 懲戒件数 (H30年度 3件) (○) <p>退学者数は減少しているが、長期欠席者が増加。学業よりも仕事を中心になってしまう生徒も多い。仕事と学業の両立、高校卒業することの大切さなど、キャリア教育の充実を行いたい。</p> <p>③中学校・外部機関との連携を強化、中高連絡会参加・学校訪問 20校以上実施を維持、本校の教育内容を周知 (H30年度 35校) (◎)</p> <p>学校訪問数は増加したが、本校の特色や指導・支援体制などの理解と連携をより強めたい。</p> <p>イ①ア「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」における生徒肯定率は前年度よりも 8.8%減少。目標とする数値よりも 5.2%低い数値になった。取組みを行っている教科はあるものの、学校全体としては不十分。生徒が活躍できる場を各授業において創出できるよう、授業改善に取り組みたい。(H30年度 54.8%) (△)</p> <p>(2)</p> <p>ア①部活動に加入する生徒が減少し、練習や大会参加も十分にできない状況にある。大会に出場した生徒(バドミントン・剣道・硬式テニス)も仕事との関係から日常的に活動することは難しい状況であった。生徒数が減る中、部活動を活性化できるかどうか課題。(H30年度定通実業総体 6位) (△)</p> <p>②秋季発表大会、各部門への参加はできず、展示部門(写真部)のみの参加。定通生徒にとって貴重な発表の場であるので、いずれかの部門に参加できるよう取り組みたい。(△)</p>

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

<p>3 誇りをもてる学校づくり</p>	<p>(1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得 ア 生徒による地域活動の実施、公開講座の実施</p> <p>(2) 学校の取り組みを広報 ア 地域での広報を積極的に展開</p> <p>(3) 優れた教育環境の提供 ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と優れた指導体制づくり イ 安全安心な学校づくり</p>	<p>(1) ア①生徒による学校周辺巡回清掃等の地域連携活動を実施する。 ②夏休み工作教室を、希望があれば出張教室にするなど拡大・充実する。 ③周辺地域公共機関等への実習作品の寄贈を継続する。</p> <p>(2) ア①学校行事を、保護者・地域に公開し、広報を実施する。 ②保護者・生徒のニーズに合致した学校ホームページの改善</p> <p>(3) ア①工業系科目の充実を図り、生徒が意欲を持って取り組める教育課程の再編成を進める。 ②授業公開、研究授業参加、専門研修派遣を実施し、授業力の向上と、指導内容の刷新を図り、優れた学習環境を実現する。 ③系列会議で生徒状況の把握、授業の工夫の交流などを進める。 イ①防犯防災訓練、交通安全教育及び研修の実施 ②安全点検の実施</p>	<p>(1) ア①地域連携活動を年間通じて実施。(年間3回以上) 生徒向け授業アンケート「地域や保護者とのかかわる機会がある」における生徒肯定率65%以上 (H29年度 59.4%) ②地域の小学生対象の出張工作教室を実施 参加者数延べ20名以上 (H29年度 29名) ③地域機関への作品寄贈3件以上を維持 (H29年度 6件)</p> <p>(2) ア①体育祭、文化祭等、学校行事への保護者などの参加者数延べ50名以上 (H29年度 45名) ・保護者向けアンケート「授業参観など学校行事に参加した」における保護者肯定率10%向上を目標とし、H31年度には60%以上とする。(H29年度 40.9%) ②HP 更新月2回以上、教員・校長ブログでの情報発信 (H29年度 48回)</p> <p>(3) ア①教育課程の見直し、再編成。生徒向け授業アンケート「本校には他校にない特徴がある」における生徒肯定率80%以上 (H29年度 78.4%) ②授業公開の実施、研修への派遣を行い、H29年度の延べ10名を維持 ③若手教員を中心とした研究授業を年2回以上実施 ・公開研究授業実施 生徒向け授業アンケート「教え方に工夫をしている先生が多い」における生徒肯定率80%以上を維持 (H29年度 86.3%)</p> <p>イ①年3回の生徒向け訓練、講習の実施及び心肺蘇生法教員研修の実技実習の実施 ・生徒向け授業アンケート「災害時の行動について知らされている」における生徒肯定率80%以上 (H29年度 72.3%) ②機械・自動車工場の年度内2回の安全点検及び産業医を伴った巡回点検を実施、安全な学習環境を維持 (H29年度 2回)</p>	<p>(1) ア①「地域や保護者とのかかわる機会がある」における生徒肯定率は前年度よりも4%向上したが、目標とする数値には1.6%達していない。地域との連携を深め、目標達成をめざしたい。(H30年度 63.4%) (△) ②地域の小学生対象の出張工作教室を実施し、目標とする参加者数を達成。本年度は本校生徒も工作教室に講師として参加し、有意義な活動を行うことができた。次年度も生徒の参加を促したい。(H30年度 2校、29名参加) (◎) ③地域機関への作品(木製ベンチ) 寄贈、3件(市内幼稚園)以上を維持。(H30年度 6件) (◎)</p> <p>(2) ア①本年度は文化祭に30名を超える来校者があり、学校行事への参加者数は前年度を超え、目標人数を達成。次年度も目標達成をめざしたい。(H30年度 54名) (◎) ・「授業参観など学校行事に参加した」における保護者肯定率は12.4%向上。授業参観期間を設けたことが向上につながったと考える。H31年度には60%以上を目標とする。(H30年度 53.3%) (◎)</p> <p>②教員・校長ブログを通じて学校や生徒の様子などの情報発信を行った。また、本年度はHPのリニューアルも行い、旧HPよりも見やすいものに変更した。次年度も情報発信に努めたい。(更新 50回以上) (○)</p> <p>(3) ア①「本校には他校にない特徴がある」における生徒肯定率は7.3%向上し、目標とする80%以上を達成。次年度も80%以上を維持し、本校で学ぶことの意義を生徒に伝えたい。(H30年度 85.7%) (◎) ②授業公開週間を年間行事計画の中に設定し、教員相互の授業観察ができるように取り組んだ。各種研修にも若手教員を中心に派遣し、延べ10名を維持 (○) ③若手教員を中心とした研究授業を年2回以上実施 (○) ・公開研究授業実施 生徒向けアンケート「教え方に工夫をしている先生が多い」における生徒肯定率は12.5%減少し、前年度より大幅にダウン。目標とする80%にも6.2%届かなかった。個々の生徒への丁寧な対応はできてはいるが、ICT機器の活用、授業作りの工夫について検討を行いたい。(H30年度 73.8%) (△) イ①生徒向けアンケート「災害時の行動について知らされている」における生徒肯定率は3.3%向上したが、目標とする80%以上は達成できなかった。HPに災害時用のページを設けたことなど、生徒への周知徹底を行いたい。(H30年度 75.6%) (△) ②機械・自動車工場の年度内2回の安全点検及び産業医を伴った巡回点検を実施。次年度も安全な学習環境を維持したい。(○)</p>
----------------------	---	---	--	---